



こころ豊かに つながる笑顔 元気なとつか

2023

No.306

4

戸塚区*のいま* (2023年3月1日現在)

人口: 283,152 人

世帯数: 124,333 世帯

ととつか

さらに住みやすい戸塚へ

～令和5年度 横浜市などが実施する主なまちづくり事業を紹介します～

11 住み続けられるまちづくりを



道路 混雑緩和や歩行者への安全対策に向けて

道路整備は、幹線道路の混雑の緩和や、生活道路を通り抜ける車の量を抑えることなどが期待されます。



① 国道1号 (不動坂工区) 柏尾町～上矢部町 (約1.1km)

歩道橋の整備により歩行者の安全性向上を図るとともに、交差点改良により慢性的な渋滞の緩和を図ります。今年度の2月に歩道橋が現地に設置され、今年度中の歩道橋完成に向けて工事を進めています。



▲不動坂交差点歩道橋の工事 (2023年3月撮影)

② 桂町戸塚遠藤線 (上倉田戸塚地区) 上倉田町～戸塚町 (約1.0km)

道路ネットワーク強化、利便性向上を図るため、国道1号から柏尾川やJR線を横断して環状3号線、環状4号線などと連絡する道路を整備しています。今年度も、高島橋の早期完成に向け、引き続き工事を進めています。



▲高島橋の架け替え工事 (2023年3月撮影)

区道路局建設課 (☎671-3521 ☎663-8993)

交通 戸塚駅周辺の混雑緩和に向けて

戸塚駅周辺では、送迎や荷捌き車両の一時停車などにより駅前の道路が大変混雑しているほか、停車車両をよけた車が対向車線へはみ出すなどの危険な状況も発生しています。このような状況を解消する取組を東口、西口でそれぞれ進めています。

東口 交通社会実験へのご協力ありがとうございました

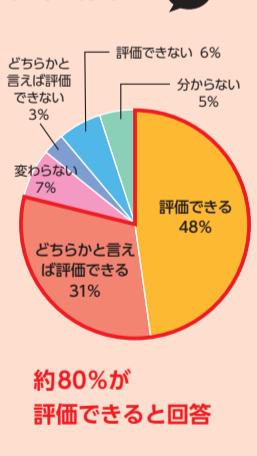
～実験結果をもとに駅周辺の交通対策を進めていきます～

2022年11月23日から29日まで、戸塚駅東口周辺道路の駐停車対策を行う交通社会実験を実施しました。

社会実験の概要



この交通社会実験について… 駅周辺利用者の声



西口 戸塚駅西口周辺が変わります。

～西口駅前線を駐停車禁止へ～



① 送迎バス乗降場の確保

第2バスセンターを拡張し、送迎バス乗降場の新設や利用しやすい乗降スペースの確保などを行います。



▲隣接する拡張予定地

② 一般車乗降場の利用促進

第2交通広場の愛称の決定や案内サインの更新による認知度の向上、交通広場から出ていく車の混雑対策に向けた案内サインなどの新設・改修を行います。



▲第2交通広場 (戸塚区総合庁舎下)

③ 西口駅前線の駐停車禁止

①②の整備が完了した後、駅周辺道路における駐停車禁止の交通規制を行います。現在は、規制範囲や方法などについて検討を進めており、周辺の関係者などと調整を行いながら、2024年の春ごろの実施を目指しています。

区役所企画調整係 (☎866-8326 ☎862-3054)

公園 舞岡八幡山しぜん公園・(仮称)舞岡墓園の整備

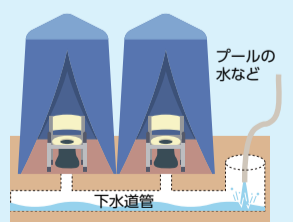


自然環境を保ちつつ、多様なレクリエーションにも対応できる総合公園と緑豊かな公園型墓園を舞岡町と吉田町で整備しています。昨年、公園の名称が「舞岡八幡山しぜん公園」に決まり、一部の広場を公開しました。引き続き、令和8年度の公園全体の開園と墓園の工事完了を目指し、整備を進めていきます。(墓園の募集時期や申込方法は未定です)

区環境創造局公園緑地整備課 (☎671-4611 ☎671-2724) 健康福祉局環境施設課 (☎671-4387 ☎664-6753)

防災 災害時下水直結式仮設トイレの整備

区内の地域防災拠点(平戸・秋葉中学校を除く小中学校36校)に、地震で水洗トイレが使用できなくなった場合でも衛生的に使用できる「災害時下水直結式仮設トイレ」の整備を進めています。今年度中に5校(平戸台・上矢部・境木小学校、境木・南戸塚中学校)で整備し、36校全ての整備が完了する予定です。



通称: 災害用ハマッコトイレ

区環境創造局管路保全課 (☎671-2829 ☎641-5330)

